

就任のご挨拶

旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

教授 高 原 幹

この度、令和6年（2024年）1月1日付けで、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座の教授を拝命いたしました高原 幹と申します。当講座は1976年に初代教授海野徳二先生が開講され、本講座の礎を築きました。その後、1998年に二代目教授として原淵保明先生が就任され、更なる飛躍的発展を遂げ、今回、三代目として昇任致しました。伝統ある旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座を主催していくことは身に余る光栄であり、同時にその責務の重さに身の引き締まる思いであります。

私は北海道足寄郡足寄町という十勝の出身です。同年代の方であれば松山千春の出身地と言えば理解していただけたと思いますが、若い方は難しいかもしれません。足寄中学校を卒業後、函館ラサール高校を経て、旭川医科大学に1988年に16期生として入学させて頂きました。学生時代は剣道部を軸にゴルフ部、合唱部にも在籍し、それに加え家庭教師などのアルバイトも行っていたため、大変充実した、非常に忙しい学生生活を送りました。その時の仲間は今でも交流があり、症例のご相談など本当にお世話になっております。これは、非常に大きなかけがえのない財産で、学生時代には全く予想しておりませんでした。学生の皆様も、その繋がりを大切に下さって下さい。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は当初は選択肢にも入っておりませんでした。が、剣道部繋がりによる熱意のある勧誘に絆され、1994年に入局させて頂きました。入局後は耳鼻咽喉科・頭頸部外科の多様さと奥深さに魅了され、初期研修から関連病院での6年間はその臨床に無我夢中になりました。その後、大学勤務となりましたが、原淵教授の強力な教室運営のもと、教授をはじめ多くの良き指導者に恵まれ、様々な経験を積ませて頂きました。臨床的な側面だけでなく、研究、教育、発表、管理、運営、留学など多岐に渡り、現在の私の血肉となっております。ご指導頂いた先生方には感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は文字通り、耳・鼻・口腔・咽頭・喉頭・唾液腺・甲状腺・頸部の広大な領域を対象としております。それらの領域は、聴覚・平衡・嗅覚・味覚・発声・呼吸・嚥下など生命の維

持や質の保持に必要な多くの機能を担っております。我々はその機能障害の回避や回復を念頭に、バランスのとれた治療を進めて行かねばなりません。当科では聴力障害を人工臓器にて改善する人工内耳手術や頭頸部根治的手術とその機能欠損を改善する遊離再建手術を形成外科の先生方と共同して行っており、機能維持、回復に努めております。それ以外にも、内視鏡下耳科手術、内視鏡補助下甲状腺手術、内視鏡下唾石手術など先端的鏡視下手術も取り入れており、患者様のニーズにできるだけ応えることができるよう努力しております。また、研究では、近年注目されている、再発転移頭頸部癌に対する免疫治療に先駆けて、頭頸部癌の免疫学的解析を精力的に以前から行っており、将来的に臨床応用可能な知見を数多く得ております。さらに、扁桃病巣疾患に関する基礎的、臨床的研究は当科の命題として継続しており、国際的にもトップレベルにあると自負しております。

当教室は年齢的に若いスタッフで構成されていますが、私が自慢できるやる気のある優秀なスタッフが揃っております。彼らとともに、臨床と研究にアクティビティーの高い、熱い情熱と誠意に満ちあふれた教室運営を行って参ります。今後とも、我々耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座へご指導・ご鞭撻を賜れますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

